

報告第 5 号

令和 8 年度公益財団法人宇治市野外活動センター
事業計画について

令和 8 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について、別紙
のとおり報告する。

令和 8 年 3 月 2 1 日提出

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉 本 厚 夫

令和 8 年 度

事 業 計 画

公益財団法人宇治市野外活動センター

I. 年度事業方針

公益財団法人宇治市野外活動センターは野外活動を通して Well-being（健幸）な社会の実現を目指して各事業を展開する。主たる事業として宇治市総合野外活動センター「アクトパル宇治」（以下アクトパル宇治）の指定管理者として施設の管理運営に取り組む。

アクトパル宇治は豊かな自然を生かし、市民各層の交流と余暇時間の有効活用を図るとともに、過疎化の進む地域の振興を図ることを目的として設置された。

当法人はお客様がアクトパル宇治を創り育てる人となっていただけるよう、Make it together をキーワードにして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう施設の管理運営を行っている。引き続き公益法人として、これまで培ってきた経験を生かしお客様の満足度を高めることでアクトパル宇治のリピーター・ファンを増やすとともに、環境保護への取り組みや教育施設として学校教育、社会教育活動の充実を図るため、次の3つのミッションを事業実施の柱とする。

- 豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。
- 自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。
- 地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。

令和8年度においては、現指定管理契約期間の最終年度であることを踏まえ、これまで取り組んできた業務の効率化や経費削減、およびお客様の利便性向上に向けたデジタル化や、予約管理・情報発信・顧客管理等の業務プロセスの高度化を推し進める。

また、既存施設を最大限に活用するため、新たな利用の提案や利用シーンの拡張を図り、学校・企業研修や各種団体利用、体験プログラム、自主事業を充実させることで、冬期や平日利用の促進と新規利用層の開拓を進め、持続的な集客基盤の構築につなげる。

食堂売店運営、清掃、植栽業務を委託する有限会社笠取ファームとは、引き続き密な連携体制を維持するとともに、地域を共に創るパートナーとして、農業・ふるさと体験事業を中心に、地産地消メニューの開発や地域資源を活用した交流型プログラムの拡充に取り組み、笠取地域の魅力発信および地域の活性化に寄与する。

次期指定管理期間においても継続して受託することを見据え、現指定契約期間の総仕上げとして、公共施設としての公益性と経営的視点の両立を図りながら、中長期的な利用者基盤の形成を進め、継続受託に資する実績と体制の構築を目指す。

Ⅱ．事業内容

【公益目的事業と収益等事業】

宇治市総合野外活動センターの運営事業、その他事業において、野外体験活動や学校教育活動などを目的とした利用は公益目的事業、それ以外の宿泊施設のみの利用や企業への貸会場などは収益等事業とする。

1． 指定管理業務

宇治市より「宇治市総合野外活動センターアクトパル宇治」の指定管理業務を受託する。

（1）施設利用【宇治市総合野外活動センター管理運営事業・活動支援事業】

お客様に安全・安心、快適に施設を利用していただけるよう維持管理を行い、施設を良好に管理する。あわせて、施設使用の予約受付から申請許可、使用料の徴収等、施設運営に係る業務を行う。

教育活動、レクリエーション活動の場として天体観察・創作活動・農業体験等のプログラムを提供し、学校・団体利用の促進をはかるとともに、お客様満足度の向上につながる事業を展開する。

（令和7年度実績見込）

年間利用者数 9.5 万人（宿泊利用 3 万人 日帰り利用 6.5 万人）・利用料金収入 3,500 万円

（令和8年度目標）（前年度比 1.1 倍）

年間利用者数 10.5 万人（宿泊利用 3.3 万人 日帰り利用 7.2 万人）・利用料金収入 3,850 万円

【収益強化に向けた取り組み】

○学校・団体利用の促進

- ・市外、府外の小学校の利用を促進するため、利用プランの送付等、広報を強化する。
特に、近年利用が増加している近隣大阪府内の小学校林間学習の招致を強化する。
春と秋の林間学習繁忙期や団体利用については休所日の利用も受け入れる。
- ・茶摘み体験、笠取の歴史・自然等、地域の特色を生かした小学校向けの体験学習・教育プログラムを提案する。

- ・各種スポーツ団体、企業・団体研修、大学生ゼミ合宿の利用促進に向け利用案内を送付する。
- ・福祉、障がい者団体に向けた利用プランを提案する。
- ・インバウンド誘致
ふるさと体験、農業体験をはじめ、アニメファンに向けた聖地巡礼のPRを強化する。

○工作プログラムの拡充（活動支援事業）

（目標額：収入 284 万円 支出 148 万円 収支差額 136 万円）

- ・新規工作メニューの開発
- ・予約不要日の設定（工作棟オープンデー）

○各種利用プランの提案

- ・初めてのお客様にもわかりやすく施設利用を案内するため、食事や宿泊、体験プログラムをセットにしたプランを提案し、利用促進につなげる。利用の少なくなる冬期のおすすめプランとして鍋料理、天体観察、創作活動等を組み合わせたプランを販売し冬場利用を促進する。「スポーツ合宿プラン」「グラウンド・ゴルフ（GG）プラン」等
- ・リモート会議の設備をPRし、研修室においてワーケーション利用や企業・学校の会議スペースとしての利用を促進する。「研修、ゼミ合宿プラン」

（収支）

令和 7 年度林間学習利用実績約 37 校→令和 8 年度目標：15 校利用増（収入 150 万円増）

令和 7 年度企業研修利用実績約 12 件→令和 8 年度目標：5 件利用増（収入 100 万円増）

令和 7 年度スポーツ合宿利用実績約 82 件→令和 8 年度目標：10 件利用増（収入 70 万円増）

- ・冬キャンプ割引プランの提案

○広報・PR 活動の強化

- ・キャンプ場、BBQ 場案内サイトへの情報掲載（デジキュー、なっぷ）
- ・SNS 発信の強化

令和 4 年度より SNS（instagram、X、facebook）を毎日更新しており、フォロワーも増えてきており（令和 8 年 2 月現在 instagram 1,930 人、X 1,260 人、facebook 640 人） フォロワー向けキャンペーンも実施し、継続してフォロワー増加に努め、施設・イベント等の情報発信を強化する。

初めてのご利用にむけた施設、利用方法紹介の投稿強化

- ・地域情報発信 web サイトへの情報提供（ALCO、号外 NET、京都 Living、きょうとくらす等）
- ・アウトドアショップの店頭でパンフレット配布（アルペンアウトドアーズ他）
- ・ホームページで細かな情報発信を行う。

【サービス向上に向けた取り組み】

○お客様利便性の向上にむけた取り組み

・Web 予約システムの拡充

- ・申請手続きの簡便化
- ・オンライン決済導入
- ・利用アンケートの拡充

（収支）

支出 予約システム利用料 20 万円

○施設修繕の取り組み

- ・アスレチックや常設テントデッキ、炊事棟の劣化部分の修繕をはじめ、安全に施設をご利用いただけるよう適宜点検・修繕を実施する。
- ・利用者の利便性を高めるため、トイレの改修計画を進める。
- ・大規模修繕については宇治市と協議の上、実施に向けた調整を図る。
（令和 8 年度は管理棟・体育館の耐震化工事実施予定）

（収支）

年間修繕費支出 350 万円

（予算計上されており、指定管理料から支出する。修繕費が 350 万円以下だった場合は差額を市に返還。）

(2) 利用促進イベント 【野外活動奨励事業】

市民が気軽に野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層にアクトパル宇治の利用が促進されることを目指して予約不要のイベントを開催する。

イベントを通じた施設紹介や、施設の無料開放を通じて認知を高め、利用促進につなげる。

[令和7年度実績見込み]	支出 230,000 円
	参加者数 7,200 人
[令和8年度目標]	支出 260,000 円
	参加者数 8,000 人

事業一覧 (詳細は別紙資料1 参照)

春まつり、親子グラウンド・ゴルフの日、グラウンド・ゴルフデー、アクトパルであそぼう!、山であそぼう!、秋まつり、ハロウィンをたのしもう!、夏のわいわいホリデー、冬のわいわいホリデー、星空オープンデー



(3) 収益イベント 【活動体験事業】

丁寧なサポートと充実したプログラムを提供するために、有料イベントを企画・実施し、生涯学習の推進を図る。

親子で参加しやすい初心者向けの単発プログラムを中心とする一方、野外活動に深く興味を持ってもらう連続企画や年間を通じた登録制のクラブも実施する。

	収入	支出	収支差額
令和7年度実績見込	3,490,000	2,350,000	1,140,000
令和8年度目標値	4,520,000	2,870,000	1,650,000

(詳細は別紙資料2 参照)

①自然・文化・農業

笠取ならではの自然を生かした体験や農業体験、また笠取に古くから伝わる文化に触れる体験イベント。

事業一覧（詳細は別紙資料 1）

春の野草探しと野草の天ぷら、米作り（連続企画：田植えから収穫まで）、エッグハント、宇治茶を知ろう！、じゃがいも畑のくいしん坊、虫ムシ大作戦、生き物調査隊、いも掘り&クッキング、ふるさとを味わおう、クイズラリー
シン・ポテオニ大作戦！（玉ねぎとじゃがいも～植え付けから収穫まで～）、秋のピクニック、ミニ門松&ミニ鏡餅づくり&もちつき、ふるさとハイキング、ピニャータ割り、しいたけの菌打ち、天文教室、グラウンド・ゴルフ大会



②アウトドア体験

初心者がアウトドアを楽しむためのちょっとしたコツをアドバイスして、アクトパルの炊事棟やキャンプ道具をご利用いただきスキルアップできるイベント。

事業一覧（詳細は別紙資料 1）

バウムクーヘンをつくろう！、親子 de キャンプ、アウトドアクッキング（生地からピザ作り）、燻製をたのしもう！、ダッチオーブンでケーキをつくろう！、冬のアウトドアクッキング、BBQをたのしもう！、アウトドアクラブ（年 5 回連続企画）、炊事棟オープンデー



③手作り体験

施設近辺で取れる自然素材を使ったり、工作棟で電動工具や陶芸窯を使ったりとアクトパルならではの手作り体験ができるイベント。親子で協力する作品づくりや大人だけでも楽しい作品づくりなど目的に応じて参加できる。

事業一覧（詳細は別紙資料 1）

陶芸教室入門編、夏休み親子工作デー、そば道場、手打ちうどん道場、流しそうめんセットをつくろう！、クリスマスリースをつくろう！、陶芸教室ろくろ編、親子で楽しむ木工教室、陶芸クラブ（年間登録制）、つくってあそぼう、工作棟オープンデー



2. その他自主事業 財団自主事業（収益事業・公益事業）

既存施設の新たな活用方法を提案し施設の稼働率・収益率を上げるとともに、貸出物品の追加や備品の設置により、お客様のニーズに対応できるよう利便性を高める。

施設外でのイベント開催や外部事業者との提携、新たな施設活用など枠組みにとらわれない柔軟な事業展開を行う。

食堂及び売店運營業務を有限会社笠取ファームに委託し、地域の特徴を生かした食事提供や物品販売を行う。

収益事業

指定管理業務以外の取り組みで収益の確保も求める事業

	収入	支出	収支差額
令和7年度実績見込	1,380,000	570,000	810,000
令和8年度目標値	1,800,000	550,000	1,250,000

（事業例）

- ・三角広場をオートキャンプ場として活用
- ・北の広場を日帰りオートキャンプ場として活用
- ・常設テント特別プラン（森と星キャンプ）の販売
- ・出前教室、出張プログラム（木工や七宝焼き、そば打ちなどの体験プログラムを施設外で提供）
- ・春、秋まつりでのフリーマーケット開催
- ・ウェディング事業者とタイアップした野外結婚式のサポート
- ・有料貸出物品の拡充
- ・ノベルティーグッズの販売
- ・民間企業との連携事業の開催（トヨタカローラ京都他）
- ・大浴場の日帰り利用の拡大
- ・キッチンカーの出店誘致（出店料徴収）
- ・マルシェイベントの開催
- ・ペット利用の試験的導入
- ・未就学児向けプログラムの拡大（子育てサークルとの連携）



公益事業

収益を求めず、公益法人としての姿勢を打ち出す事業

- ・ eco ット宇治と共同で行っている森林保全活動「どんぐりプロジェクト」を継続し、里山環境保全の取り組みを広める。
- ・ 福祉施設、団体に利用促進を働きかける。また事業実施においてもイベントへの出店、物販スペースの提供等連携をはかる。
- ・ 山間地域で高齢者も多い笠取地域の皆様に気軽に利用いただけるよう、宇治市立図書館と連携し図書配本サービスを提供し地域サービス向上に貢献する。
- ・ 宇治市と連携し、イベント開催にあわせて送迎バスサービスを提供する。
- ・ 大学生団体のツリーハウス事業と提携し設置したツリーハウスを活用し、遊びの場を提供する。
- ・ 子どもゆめ基金を活用した子供向けキャンプイベント（サマーキッズキャンプ）を開催する。

※この公益事業については、自治体・企業との連携による寄付事業として展開する。